

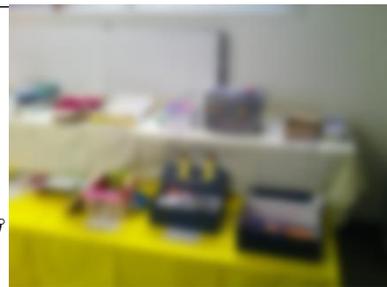
なんぱく ～アート森へ～

1年生

1年生は、平面作品「てのひらどうぶつえん」、「あきのたからもの」、立体作品「かざってなに入れよう」を作りました。平面作品では、初めて絵具を使って背景を塗りました。「てのひらどうぶつえん」では茶色1色で、「あきのたからもの」では2色を混ぜると、少しずつレベルアップしながら学習していきました。手の平や葉っぱのスタンプも、絵具の感触を楽しみながら、一生懸命取り組む姿が見られました。

立体作品では、「なんの宝物を入れようかな」と目を輝かせながら宝箱の飾り付けをしていました。

初めての展覧会。どの作品にも子供たちの思いがしっかり込められていて、素敵でした。



2年生

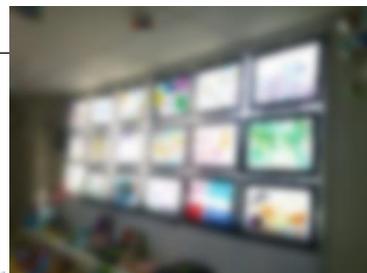
2年生は、平面作品を2作品と立体作品1作品を作りました。平面作品「ぼくわたしのすてきなぼうし」は、国語の「ミリーのすてきなぼうし」を学習して、自分がどんなぼうしをかぶっているかを考えながら描きました。「とろとろえのぐでお祝いケーキ」は、どんな味かな、どんなかざりをつけようかなと考えて、「おめでとう」の気持ちをこめてすてきなケーキを作りました。立体作品「ふしぎなたまごとくしゃくしゃぎゅっ」では、風船の周りに和紙と新聞紙を糊付けしてふしぎなたまごを作り、封筒を柔らかくくしゃくしゃにしていろいろな形を作ったたまごから誕生させました。

鑑賞の時間は、自分たちの作品だけではなく、各学年の作品を見て楽しんでいる姿が見られました。



3年生

3年生は、平面作品「はっけん！なんぱくこんちゅう」、「光のオーケストラ」の2作品と立体作品「とんどん星人と仲間たち」を作りました。平面作品は、様々な材料を使った版画とトレーシングペーパーを使用したカラフルな作品に仕上げました。初めて釘や金槌を使って作り上げた立体作品は、「友達と遊んでいるとんどん星人」や「家でゆっくりしているとんどん星人」など生き生きとした作品に仕上がりました。楽しみながら製作する姿が輝いていました。



4年生

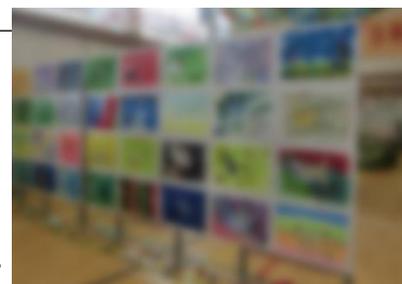
4年生は平面作品「ゆめもようないきものたち」、「これでえがくと！」の2作品と立体作品の「こんなゆうぐあったらいいな！」を作りました。様々な模様やデザインを組み合わせ、イメージを膨らませた平面作品は、それぞれの個性の豊かさが表現されていました。立体作品は、細かいところまでこだわり、工夫されている様子が見どころでした。

創作活動を通して、最後まで集中して取り組む姿や様々な工夫を考える姿など4年生の成長を感じることができました。



5年生

5年生は平面作品「クックとポップがやってきた!」「まだ見ぬ世界」の2作品と立体作品「ジュラシックパーク」、家庭科の作品「ウォールポケット」を作りました。初めて電動糸のこぎりを使って板を切り出した立体作品は、奥行きがある3D作品になっているので低い目線で見てみるとまた違った作品としても楽しめるよう工夫されていました。平面作品は、写真から想像を膨らませて表現したり、羽の描き方を工夫したりしました。委員会での協賛活動を通して、展示会をもっと盛り上げようと取り組む姿が立派でした。



6年生

平面作品の「南白ものがたり」は、今まで過ごしてきた南白小の風景を描きました。鑑賞した低学年の児童に「ここ、〇〇室だ!」と楽しんでもらえる作品になりました。「版から広がるわたしの地図」は、可能性が無限に広がる自分だけの地図をイメージしました。版面に使った木材は、会場に置いてパズルとしても楽しんでもらいました。立体作品の「ブックフォレスト」は、物語の場面をアルミホイルを使って表現しました。細かい部分も丁寧に作られていて、思い入れのある場面ということが伝わってきました。

展示会の立て看板や、6年の作品題字は、アートの森をイメージして展示会実行委員が作成しました。

